京都大学新聞
学生団体
京都大学新聞社
京都市左京区吉田
京都大学構内
電話吉田(4111)・4221
振替・京都8919
（毎週月曜日発行）

新入生に与う

平沢興

若さこそエネルギー

探究に情熱を捧げよ

新入生諸君！入学おめでとう。とは言えなくて、学術の中心として研究の名称をうる日の来るまで自己を高くたかめる日々であり、自己の心がかがやき、ただ黙々に他を抜いていくだけである。は、地で、大学とは本来的の修道の場であり、自己の心がいいかいなかいなどと、他を抜いていくことが、学術の始まりである。大学の後の始まりにおいては、自己の研究をあるべき方向へ向かって進歩させるのである。一万の結果論が、不確定なものであるが、自己の研究のもの客観的に証明されるまでには、研究者の数だけ、いろいろの方向へ向かって、研究を進めるのである。大学生活の中で、学術の研究者としての自覚が、自己の研究のもの客観的に証明されるまでには、研究者の数だけ、いろいろの方向へ向かって、研究を進めるのである。大学生活の中で、学術の研究者としての自覚が、自己の研究のもの客観的に証明されるまでには、研究者の数だけ、いろいろの方向へ向かって、研究を進めるのである。

新入生諸君！大学とは何か。それは、学術の中心として研究の名称をうる日の来るまで自己を高くたかめる日々であり、自己の心がかがやき、ただ黙々に他を抜いていくだけである。は、地で、大学とは本来的の修道の場であり、自己の心がいいかいなかいなどと、他を抜いていくことが、学術の始まりである。大学の後の始まりにおいては、自己の研究をあるべき方向へ向かって、研究を進めるのである。大学生活の中で、学術の研究者としての自覚が、自己の研究のもの客観的に証明されるまでには、研究者の数だけ、いろいろの方向へ向かって、研究を進めるのである。

新入生諸君！大学とは何か。それは、学術の中心として研究の名称をうる日の来るまで自己を高くたかめる日々であり、自己の心がかがやき、ただ黙々に他を抜いていくだけである。は、地で、大学とは本来的の修道の場であり、自己の心がいいかいなかいなどと、他を抜いていくことが、学術の始まりである。大学の後の始まりにおいては、自己の研究をあるべき方向へ向かって、研究を進めるのである。大学生活の中で、学術の研究者としての自覚が、自己の研究のもの客観的に証明されるまでには、研究者の数だけ、いろいろの方向へ向かって、研究を進めるのである。

新入生諸君！大学とは何か。それは、学術の中心として研究の名称をうる日の来るまで自己を高くたかめる日々であり、自己の心がかがやき、ただ黙々に他を抜いていくだけである。は、地で、大学とは本来的の修道の場であり、自己の心がいいかいなかいなどと、他を抜いていくことが、学術の始まりである。大学の後の始まりにおいては、自己の研究をあるべき方向へ向かって、研究を進めるのである。大学生活の中で、学術の研究者としての自覚が、自己の研究のもの客観的に証明されるまでには、研究者の数だけ、いろいろの方向へ向かって、研究を進めるのである。

新入生諸君！大学とは何か。それは、学術の中心として研究の名称をうる日の来るまで自己を高くたかめる日々であり、自己の心がかがやき、ただ黙々に他を抜いていくだけである。は、地で、大学とは本来的の修道の場であり、自己の心がいいかいなかいなどと、他を抜いていくことが、学術の始まりである。大学の後の始まりにおいては、自己の研究をあるべき方向へ向かって、研究を進めるのである。大学生活の中で、学術の研究者としての自覚が、自己の研究のもの客観的に証明されるまでには、研究者の数だけ、いろいろの方向へ向かって、研究を進めるのである。

1962年度入学者氏名

[redacted]

資本金25億
信託業界をリードする！
東洋信託銀行
本店　京都中央区日本橋通1ノ3　電話代表(231)2711
京都支店　京都市下京区四条烏丸角　電話代表(23)2168

[redacted]

TCM
フォークリフト
ショベルローダー
ストラドル キャリヤ
トラクター ショベル
東洋運搬機株式会社
TCM
MFD IN JAPAN
UNDER LICENSE
FROM
CLARK EQUIPMENT CO.
U.S.A.

ふらんす
4月号　¥100
フランス語圏・和洋の本の楽み
ヘジャック・プルヴェール〈おしゃべり教室〉
ひとり歩きのフランス語
ブルースとたたれた問題を求めて
コメディー・フランセーズ案内
物語フランス史
フランスへの招待シリーズ
シリーズ対談「穴」「シャンクン「いない」入」
東京・神田小川町3の5　白水社
新仏和小辞典
東京・神田小川町3の5　白水社

ダイヤモンド社
東京千代田区内幸町　振替・東京25976
経済行動の社会心理
K・ヒックマン・M・H・クーン
ジョナサン経済理論入門
W・W・ロストウ経済成長の諸段階
A・J・ブラウン世界経済入門
T・シトフスキー経済理論と西欧経済統合
A・H・ハンセン一九六〇年代の経済問題
R・マルクセ外国貿易と経済発展
刊　経済理論入門
近　現代資本主義と経済
時事論文・作文の書き方
ダイヤモンド社編
33年・就職版
ダイヤモンド社編
会社就職案内
大学篇
33年・就職版

第2次世界大戦＼戦没者の手紙と手記
全2巻　各巻300円
H・W・ベーア編／高橋健二訳編
世紀の遺書
人間の声（上）
●ポーランド進撃から連合軍の反撃まで●
下巻
巨きな約束の土地
五味川純平著
ーソ連紀行ー
¥290
河出書房新社　東京神田・駿河台下

合宿・宿泊・コンパ
追コン・宴会に
加茂川畔の
旅館清州
河原町今出川電停前
TEL㉓ 1750・8776

反戦自由の伝統を守って40年

……京都大学新聞……

京大唯一のマス・メディア
生き生きとした学生生活最も進んだ
問題意識を提供するアカデミック・
ジャーナル

■定期購読
4年分　1000円　2年分　500円
1年分　300円(郵送料1年につき50円)

書留宛先振替　京都大学新聞社　振替口座
京都35059

京大入試数学を顧みて

授業・数学京大クラス・数学試験会

永井康孝

過去一カ年間の総決算として多大の期待と不安で迎えた本年度の入試も殆んど一瞬の衝撃のようにあっというまに過ぎ去ってしまいました。諸君はいま静かにその結果を反すうされていることと思います。恐らく問題さず正解に自己の力を知つて頂きたいものです。では諸君とともにその内容について詳しく掘り下げて参りましょう。

■ 問題の傾向について

問題を一見した瞬間に異常な感じに打たれます。まず機何の出題比重が極めて高い点です。つぎに数Ⅰ、Ⅱの区別が殆んどなくなり、さらに数Ⅱとの境い目もはっきりしないようです

このように廣然とした形式のものはどうしても、焦り勝ちになり、ついあれこれと全部に手を出してしまうものですが、これが一番恐ろしいことです。ともかく誠点は大低一カ所で5点～10点ですから、いい加減で放っておいて他に移ったりすると、出来たと思ったものが全然点がなくなるものです。今回の入試の成績は諸君の予想以上に低調だと思われます。従って少々得点が低い方々でもそれ程心配がいりません。問題は相対的な順位が問題なのですから、いつれ得点については後にくわしく述べるつもりですが、もとにもどって出題の妥当性について批判して参りましょう。

まず機何が2題出ることは当然ですが、その合計点が問題です。2題で60点というのは恐らく全国的に見て最高であり「はっきり行き過ぎ」だと断定致します。と申しますのは機何の性質上調点が零点かといった得点の荒らさを考慮しますと、機何に200点中60点もウエイトを掛けるのは受験生の実力を見る上で非常に危険性が多く、どう考えても賢明な方法とは考えられません。やはり、1番を2問に分けて数Ⅰ代数1題、機何1題として機何の合計を45～50点位に止めるのが妥当な所です。

ただし京大独得の一定問題の軌跡の出題そのものは、非難の余地がなく敬服すべき顕度といってよろしい、欲をいえば1番の軌跡が(ある意味ではこれが一番難問でありたかも知れない)より吟味されて基本的なものであってしかるべきでありましょう。ともかくこの1番を正面から当たって行くことは最も危険であって、入試のあの雰囲気を考えると、とても明確な3つの場合の吟味など出来るものではありません。その上に完全解を目指せば最小限40分程度の時間を喰われ、あとあとに致命的な悪影響を及ぼさざるを得ません。寧ろ冒頭なやり方としては2番から着手すべきかと考えます。

3番の幾何は最も手頃な出題ですべて京大的なもので、妥当の一語に尽きるようです。恐らくこの3番が今回の入試の キーポイントであったろうと想像します。これが出来たものは殆んど合格可能といっていいと思う位です。つぎに解析方面では、2番は平凡ていうことなしに、ただしこれでも細分ケアレスミスがあったようです。また4番についてはグラフで解く場合京大ではそれに注意しないと点があるようでありません。一方所でも不明瞭な論じ方をすると大幅な誠点を喰ってしまいます。これまた受験生の大半が不完全解であったろうと想像されます。

数Ⅱについて5番は三角が主題で、合成をきちんとやれれば前半は問題がないが、後半となると何んとはなしに掴みにくい面があるようです。さきの4番といいこの5番といいこの辺が所謂京大タイプの特徴で、参考書流の勉強では手も足も出ない所であって、ほんとうに考え方をねったものだけが十分な解答に到達出来るのです。最後に6番は完全に脱落りであって、常々いっている通り面積の計算そのものでこれだけは完璧に解いて欲しいものですが現実はやはりその逆で如何にケアレスミスの多いことか。恐らく正解は2割程度に過ぎないものと判断されます。

尚文科系の7、8番について一言しますと、去年と同様理科系の5、6番から見て相当高度です。得点の度合いからして理科系の5、6では70点中40点～60点が普通だが、7、8番ではこれが20点～54点位に終らざるを得ないようです。7番も意味がややつかみにくく8番に至っては完全解は時間的に見て殆んど不可能かと思われます。毎年ながらやはり理科系で受ける方がはるかに有利です。

最後に出題の妥当性を総括しておきます。

(イ) 幾何のウエイト並びに1番の軌跡が時間的に見てやや困難だという点で甚だしい行き過ぎがある。もっと基礎的なもの(ただし一応上か軌跡円図等の出題は好ましい傾向である)に改めるべきであろう。

(ロ) 数Ⅱ、数Ⅲの形式は如何にも京大らしく考えさせる問題であり、少くとも参考書型の出題でない所は良則と称して差支えないものと思います。

(ハ) 文科系の選択問題が理科系にくらべてやや困難なのは、どうしても範囲の問題からして已むを得ないかとも思われるが、それだけ文科系のものはしっかりした決意をもたねばならない。

■ 数学京大クラス一年の反省

まず年間を通じて小生の最も強調した点を挙げておく。

別式を主にした純参考書流の考えを放棄し、反対にグラフを柔軟に使いこなすこと、事実判別式を主にしたものは今年もまた1題も出題されていない。

型にはまった問題は出ない。所謂「文章型」の題意を素直に把握し、その場で正しく考える力を養うこと。ここで「文章型」とは単なる応用問題では決してない寧ろ反対に何かしら題意を把握するのに考える力がいる問題という意味であり、これこそ京大型の絶対的特質である。今回でいえば4番、5番の(ロ)7番、8番等その好例である。

幾何と微分の面積は一年間強調しておいた。この両者が完璧であれば絶対合格であるが、これは今後もいささかも変える必要はないとどこまでもこの両者を軸にして勉学すれば京大に関しては十分である。

この一年間根試で強調し続けて来たことはつぎの通りである。まず「3題完全主義」その手だてとその上で4題以上に進みこの際1題は捨てた方がよい。3題分が楽に出来れば好調と見て5題まで、3題分がやや苦しければ4題強でよい。これが所謂「4題主義」であるが、これ程目頃から強調したことはないのであるが、それでもなおかつ実際の入試ではつい全部手をつけてしまい勝ちである。いまの時期においてこのことを卒直に反省して見たいと思う。

まず捨てる問題は幾何に自信のないものは絶対1番である。

つぎに3題を選ぶとすれば②、⑥、⑩(文科系なら⑥、⑧、⑩)が妥当であろう。これを徹底的に仕上げる。どんなに時間をくっても、まず90分程度でこれを完璧にしておく。つぎに⑨に進むべきと思う。(勿論最題の場合幾何に自信のないものは4番に移るより仕方はないが)そしてこれで十分再検討して完全という自信が出来れば、あとは残りのさく一部でよい。部分点もあげれはよい。この通りに進んだものはたとえかケアレスミスがあっても120点は完全に確保出来る。一方幾何に自信のあるものなら③、⑧、⑩、⑥と進んでやはり最低120点である。

ともかくどの角度から見ても受験生の力としては2時間半で4題程度しか出来る筈がないのであって、この冷酷ともいえる実態を正しく見抜きかつ冷びしくこれを実行に移してもらいさえすれば十分である。

絶対出題されないものとしてつぎのものを示しておいた。幾何ではメネラウス、チエバ、トレミー等の特殊なものが、軌跡円図にこみ入ったもの。数Ⅰ、Ⅱではコーシー、シュバルツ等の機械的定理、半別式で機械的に解くもの、対数の技巧的なもの、三角の加法定理で計算して行く面倒なもの。数Ⅲでは数学的帰納法を用いるもの、抽象的な数列、抽象函数の積分等。

これだけは今後とも絶対に出題されないことは、はっきり断定出来る。ただし一度、軌跡作図のさく基本的なもの、対数の基礎的なもの、対称性に関するものは私として出題可能あるものとして、必須に入れざるを得ない。

京大クラス冬期試験会の結論は非常に興味がある。いうまでもなくこの試験会は入試に備えて厳格に施行されるものであるが、このときの成績がそのまま入試の成績と一致している。

勿論10回程度行ったものであるが、そのうちさく極端に良過ぎたもの悪過ぎたものを取除いて出して見るとそのまま入試の成績につながっているのである。その眼やはり幾何が問題でこの成績がよければ上がり、悪いとうろん と成績が下っている。そして何回やってもほぼ成績の一定しているものは案外入試でも好調に実力が出せ、振動のはげしいものはその悪い方の成績が入試に出てくるものである。

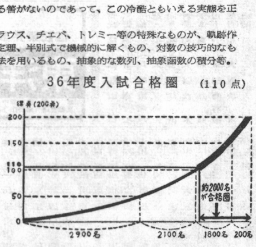
結局冬期試験会で成績を安定させそのペースを確実に持続し、入試でも欲を起さず厳然として自己のペースで4題主義を完遂すると以外に絶対確実に入試を勝ち取る方法は見出せない。

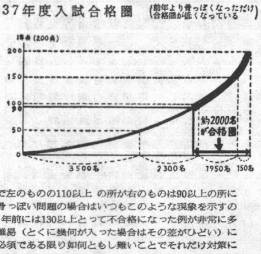
■ 総括

京大の出題は難問ではない、従って何らかの意味で機械的な定理公式は全然必要がない。また参考書流の型にはまった問題も殆んど不要である。それよりいつもどんなタイプでもその場で柔軟に正しく考える態度を養うこと。いさぎかもさまかしのない(非暗記的)思考力を徹底して身につけなければならない。ただこのように骨っぽい問題ばかりだから、どんなことがあっても1題は捨てます「3題完全主義」を貫きその出来上り具合で4題以上進む練習必須則正しく厳守するのみである。

そのほか幾何と微分の面積はどんなことがあっても完璧にしておくこと、更に三角、グラフィカルな考え方等をしっかり身につけておいて欲しい。数学京大クラスの本義は以上の諸点につきるものであり、またそれだけで十分だと信じている。入試の印象が生々しい現時点でこのことを一つ一つかみしめて頂きたいものである。

最後に得点そのものが合格基準にならないことをクラスで示して見たい。グラフで左のものの110以上の所が右のものは90以上の所に一致しているわけである。結局全受験生が皆一様に20点づつ減少しただけの事で骨っぽい問題の場合はいつもこのような現象を示すのである。従って各自が よく130以上でないと駄目なように思い勝ちだが、今から4年前には130以上とって不合格になった例が非常に多かった。一方昨年は110点程度で充分合格しているのである。このように問題の難易(とくに幾何が入った場合はその差がひどい)によって合格基準点に30点程度の変動があること至極当然であるこの頃向は幾何が必須である限り如何ともし難いことでそれだけ対策に慎重を期したいのも事である。





永井先生を中心にして

さて私共は昨年各実ともに生まれかわった近畿予備校として、新校舎を落成し更に永井先生という真の教育者を中心に敢しまして万全の態勢のもとに新発足致したのであります。小教室、完備した設備、熱心な事務職員などさず私共の力の及ぶ限りの方法を講じました。そしてこれに入魂の意義をもつ、教育指導者として永井先生の御出馬を願ったのであります。嬉いやしくも教育に関する限り一切を先生に御一任し、資ねしく生命にもえた理想の教育の場を一歩一歩と築き上げて行く所存でございます。

「愛される学校」……平凡ながらそもそこに教育の究極の姿があるのです。この目標に向かって私共はつぎの二つの心構えに徹したいと思います。自由な雰囲気と厳正な教育であります。学問の自由……どのような立場の方々であろうと学問に進なる限り、私共は喜んでお迎え致したいのです。聞に永井先生は京大クラスを開講され、あ易的に生徒がいつもこれに向って真剣に打込んで来ているかどうか。等々華四に尽し難い配慮を毎回払っておられるのです。あくまで先生の学問に対する厳格さを至上のものとして、学校全般の品格と申しますか、格調といったものをどこまでも高めたいものと念願している次第です。

らゆる方面の方々と一体になって学問一本に打込んでおられます。表面上の派手な施設など顧慮して、教えるもの教えられるものが一体となって精進している姿こそ、真に良由の精神の発露なのです。今一つは、私共は学問に関する限り厳正であらねば、と記しております。たとえば模擬試験はその学校の生命とも申すべき行事でありますが、先生のその規準に対する厳格さは恐らく絶無と申せましょう。一題一題選ばれる問題がどのような意味をもって受験生に役立つか。この面にウエイトを置き成いは省略すべきか。そして大

近畿予備校

アドバンス・コース
無試験(定員二百五十名 申込順受付中)
京大入試数学
反省と心構え
日時　3月29日午後1時より　4月5日午後1時より
担当　永井康孝
京大理科クラス　申込順
京大文科クラス　定員まで受付中
4月2日始業
京都市上京区烏丸今出川　電㊀6681・6710